



大和市立緑野小学校
学校だより 9月号



みどりの

令和2年8月31日

前を向く

校長 稲葉 敦子

夏休みが終わり、真夏の日差しの中登校が始まりました。夏休みも短く、新型コロナウイルスのために出かけることも簡単ではなかったと思いますが、少しは体や心を休めることができたでしょうか。

先日放送された24時間テレビを見ていたところ、千葉工業大学常任理事で未来ロボット技術研究センター所長の古田貴之博士が出演されていました。この方は、福島第一原発事故に対応するため、内部の撮影に成功した探査ロボットを開発された方です。寝る間を惜しんで研究し、食事もありとらなかったため、1か月で30kgも体重が減ってしまったというほどロボット開発の研究に没頭されていたそうです。そのわけは、中学2年の時に大病を患い、神経がマヒして歩けなくなったため車いす生活をしてきた時の経験があったからです。車いすに乗っていると周囲の方から「かわいそうに」「がんばってね」と声をかけられる中で、何か違うと感じ、もっと自分で動ける車いすを、みんながワクワクして乗れるものを作りたいと考え、ロボットの研究の道に進んだそうです。番組の中でお話しされた「特定の人しか使えない技術は広まらない」や「健常者もハンディキャップを持つ人もわけ隔てのない社会を作りたい」という言葉が心に残りました。2年ほど前にこの方の講演を聞いたことがあり、とても感銘を受けたことを思い出しました。また、この方の書かれた本の中に、ロボットの開発をする中で壁にぶつかった時、「できるかできないか」ではなく「どうしたらできるか」をひたすら考えると書かれていました。困難なことにも前を向いて乗り越え、みんなが幸せになるために役立つロボットを開発されていることに敬服し、この方の優しさを感じました。

2学期は、すでにお伝えしたように運動会や宿泊行事などが中止になり、例年通りの行事を行うことが難しい状況にあります。代替えとして、形を変えたり縮小したりして、できる形を検討しています。創立50周年の式典も実行委員会の方を中心にできる形を検討しながら進めています。

通知表については、10月30日（金）に渡します。今年度は、新学習指導要領が実施され、評価も4観点から3観点になったことに伴い、通知表の項目も3観点到変わりますので形式に変更があります。また、これまで、お渡した通知表は、ご家庭で確認した後学校に戻していただいていたのですが、今年度から、学校に戻さずそのままご家庭で保管していただく形をとります。詳しくは、通知表についてのお知らせを後日配付しますのでご覧ください。

最後になりますが、萩生田文部科学大臣より新型コロナウイルス感染症による差別・偏見防止に向けたメッセージが発表されました。児童生徒向け、保護者・地域の方向け、教員向け等あります。学校ホームページに掲載しましたのでご覧ください。児童には、担任より内容を伝えていきます。